

## 追直漁港沖合人工島

追直漁港沖合人工島(室蘭市)は、「つくり育てる漁港」「ふれあい漁港」を基本目標とする室蘭市の「Mランド構想」の核として、平成8年度から整備を進め、平成25年4月24日(水)に供用式典を開催しました。

総事業費181億円。延べ約1万6千㎡の人工島は、船着き場や作業所がある1階と駐車場や干し場がある2階の2層構造です。

防波堤により静穏域が整備され、ホタテ養殖やクロソイ養殖の規模拡大、衛生管理や品質の向上、水産物の安定供給が可能となります。

一般の方の利用は、7月13日に予定されている「Mランド完成記念イベント」からとなります。

駐車場は、測量山、駒ヶ岳などが一望できるビューポイントです。

駒ヶ岳



測量山



# ◆ 地域を支援するための調査を行っています ◆

\*詳しい調査結果は、室蘭開発建設部HP→地域情報  
→北海道総合開発推進調査に掲載しています。

室蘭開建 推進調査

検索



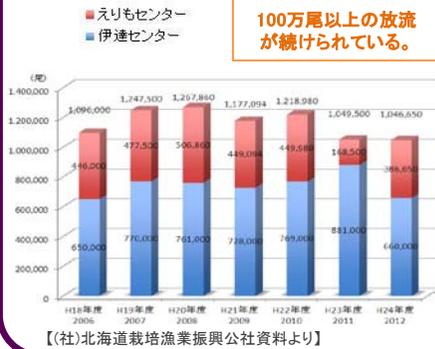
## ◆ 胆振・日高管内で放流事業を実施している「マツカワ」について調査しました ~平成24年度 地域特産品の流通消費拡大支援調査~

- ◆ 胆振・日高管内で育成、放流、漁獲されているマツカワについて、流通消費拡大、魚価向上につなげることを目的に、基礎データ収集、流通実態調査・意識調査による流通の仕組みやニーズの整理、有識者を招いた勉強会を行いました。
- ◆ 今回の調査結果から、目的達成のためのポイントとして、「ニーズは漁業者が創りだすもの」、「消費者ニーズの鵜呑みは価値の低下を招く恐れがある」、「情報発信による認知度向上が必要」、「漁業者の意識改革、正しい活け締めや品質管理の徹底による高付加価値化が鍵」などを整理しました。

### ● 基礎データ収集・整理

平成18年から始まったマツカワの放流事業の背景と実績やその効果、胆振・日高管内における漁獲量などを調査しました。

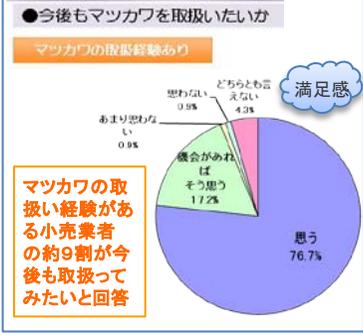
#### H18年度以降のマツカワの種苗放流実績



### ● 流通実態調査・意識調査

胆振・日高管内の漁協、市場、仲卸業者などへのヒアリング調査や飲食店などへのアンケート調査を行いました。

#### 市場における意識調査



### ● 勉強会の開催 【H25年3月21日伊達市ホテルローヤルで開催 参加者は水産関係者など約70名】

マツカワの更なる高付加価値化と知名度アップを目的に、えりも以西栽培漁業振興推進協議会と室蘭開発建設部が共催で勉強会を実施し、関係機関等に対し有益な情報発信を行いました。

#### 地域特産品の流通消費拡大に向けた勉強会 **がんばれマツカワ**

**講演** “神経締め”と呼ばれる活け締め技術をビデオと実演で紹介するとともに、その成功事例、失敗事例を水産庁の上田技術企画官が講演。



“魚の伝道士”の異名をとる上田氏



活け締めの効果を実感するため、マツカワの食べくらべを実施



左が活け締め 右が野締め

#### 【参加者アンケート結果】

アンケート結果では、活け締めについて「高付加価値化への期待ができる」94%、食べくらべでは「活け締めの方が良い」81%、「マツカワの流通消費拡大に興味をもった」90%でした。

- また、フリーアンサーでは、
- ・徹底した品質管理によるブランド化を一から始めたいと思った。
  - ・活締め方法でここまで変わるとは。知らない情報を知ることができた。
- など、**肯定的な意見がほとんど**でした。  
(回答者数 61名)

## 平成23年度以前に行った調査

### ◆ 平成23年度 特産品を利活用した地域活性化支援調査

日高東部3町(浦河町、様似町、えりも町)で高まりつつある「日高の春ウニ」を利活用した地域活性化の取組を支援するため、基礎データ収集、先進事例調査、有識者を招いた勉強会を行いました。

札幌市で開催した勉強会「日高春ウニフォーラム」では、一般参加者や有識者など約180名が参加し、都市圏において有効な情報を発信しました。



### ◆ 平成22年度 胆振・日高地域農水産品海外輸出支援調査

胆振・日高地域の農水産品の海外輸出の取組を支援するため、国内における農水産品の海外輸出の現状や先進的な輸出事例、海外市場の現状とニーズの調査などを行いました。

### ◆ 平成21年度 胆振・日高地域農水産品物流支援調査

胆振・日高地域の食の供給力強化と農水産業の安定的な流通システムを実現するため、出荷状況の取りまとめ、道内外の市場における主要な管内産品の意識調査などを行いました。

### 【本調査結果は】

地域づくり連携会議や各種報告会などにおいて、情報提供しています。



調査結果報告会(平成24年9月)